

知覚動考

「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」

寒河江市立南部小学校
校長室だより
校長 白田 敏幸

後期始業式 校長の話

今日から、令和7年度の後半がスタートしました。

3月18日の卒業式まで、106日、学校に登校することになります。

みなさんは、この106日間を、どのように過ごしますか。特別何もしなくても106日という時間は過ぎていきます。しかし、何もしないで過ごすには、時間が長過ぎます。また、これまでと同じことを繰り返すだけでは、とってももったいない時間になります。

成長する、大人に近づくということは、一人でできることを増やすことなのです。先生や友達から手伝ってもらえるなどのサポートを受けてできたとしても、最終的には、自分一人でできるようにならないといけないのです。

ただし、初めから一人でできることは少ないので、たくさんの練習と体験を積む必要があります。

ここで、エジソンという人の話をします。エジソンを知っている人はいますか？エジソンは大発明家で、1000以上の発明をした人です。

ある人が、このエジソンに、「発明をするためにはどれぐらい失敗しましたか？」と聞いたそうです。そうしたらエジソンは、「私は失敗していない。ただ、10000通りのうまくいかない方法を見つけただけだ。」と言ったそうです。もう一回言いますね。「私は失敗していない。ただ、10000通りのうまくいかない方法を見つけただけだ。」と言ったそうです。そうです。この世の中に失敗などないのです。みなさんが「失敗だ！」と思ったことは、うまくいかないことを発見しただけなのです。

「テストで間違った！」ではなく、「間違った答えを見つけた。」のです。

「友だちと喧嘩しちゃった！」ではなく、「友達と喧嘩になってしまう方法を見つけた。」のです。

では、これからの後期で何をすればよいのでしょうか。

それは、できることを増やすために、「まずはやってみよう」という心をもって取り組むことです。そして、うまくいかない方法をたくさん見つけてください。これが、南部小学校で掲げている「踏み出す力」です。

南部小のみなさん一人一人に「まずやってみよう」の精神が生まれたなら、きっと、みんなが幸せな南部小をつくることができるはずです。そして、そのときには、みなさんの力はうんと高まっていることでしょう。

先生たちも含めて、みんなが幸せになれる南部小学校をつくっていきましょう。

